まちの日記帳

健やかな成長を願う
保育所でこどもの日会

5/1

びくに・みなと保育所でこどもの日会が行われ、園児たちは、絵本やゲーム、「こいのぼり」の歌を唄うなどして楽しい時間を過ごしました。

それぞれの個性が発揮された手作りの色鮮やかな「こいのぼり」や「かぶと」の製作発表を行うときは、それぞれが工夫した部分や上手に出来た箇所などを一生懸命に発表し、園児たちは得意気な表情。

それぞれの健やかな成長を願う子どもの日、子どもたちは元気いっぱいにこの日を楽しんでいるようでした。

▲びくに保育所

▼みなと保育所

歌と楽器を楽しむ！
「リフレッシュ学級」が開講

5/7

今年度第１回目のリフレッシュ学級「開級式・音楽療法体験」が総合文化センターで行われ、27 名の高齢者の方々が参加しました。

今回で７回目を数え、すっかり参加者にもおなじみとなっている音楽療法士の近藤ひとみさんを講師に招いた講話は今年も大好評、参加者の皆さんは民謡や近藤先生が制作したしゃこたんオリジナルソングを歌ったり、太鼓や鳴子などのほか、見慣れない珍しい楽器の演奏をしたりと、近藤さんの軽快なお話に乗せられながら賑やかに楽しんでいました。

安全運転の呼びかけ
交通安全街頭啓発を実施

5/7

商工会女性部（葛西幸子部長）が美国町内の国道で街頭啓発を行い、同会女性部手作りの交通安全祈願のお守り計１００個を手渡ししながら交通安全への協力をドライバーへ呼びかけました。

今後、観光のオンシーズンとなり、交通量の増加が見込まれますが、観光客の皆さんには一件の輪禍も発生させずに積丹町の美しい景色や素晴らしい食を楽しんで帰ってほしいものです。

長年続けていただいている同部の皆さんの交通安全運動に感謝申し上げます。

美しい景観づくりに感謝！
ボランティアによる「花まちづくり」

5/7

ボランティアスタッフ５名と町のスタッフ３名の計８名が、岬の湯看板付近の道路の両脇に咲く水仙の手入れや草刈りを行いました。

平成19年から始まり、今回で９年目のこの活動は年々植栽範囲が広がっており、これから本格的な観光のオンシーズンに入り、来館者も増加する岬の湯を訪れる観光客の方々には、今回の活動で整備を行った美しい景観を楽しんでいただけることと思います。

このようなボランティア活動の輪を広げていただいていること、美しいまちづくりに尽力していただいていることに感謝いたします。

“春”自然の恵みを楽しむ
少年教室「山菜採り」

5/9

積丹町野外スポーツ林スキー場で橋場政男町山岳愛好会会長と佐藤多美子北海道フードマイスターのお二人を講師に招き、第1回少年教室「自然観察・山菜採り」が開催され、小学生や保護者等30名が参加しました。

橋場講師からの「山菜は育つのに時間がかかるので、むやみに採取せず、資源を守ることが重要」というアドバイスを守りながら参加した小学生は、ウド等を一生懸命採取していました。

その後、採取した山菜で天丼を調理し、参加者は自ら採取した自然の風味を楽しんでいました。

「ゴミの無い積丹町」自らの手で
美国婦人会が清掃活動を実施

5/11

雪もすっかり解け、雪に隠れていたゴミが散見されるこのシーズン、美国婦人会（戸来和子会長）は町内の清掃活動を行いました。

この日の清掃活動には同会から16名が参加し、火バサミなどを片手に約２時間をかけて熱心にゴミを拾い集めました。

毎年、このような活動を続けて下さっている美国婦人会の皆さんに感謝を申し上げるとともに、このような地域のコミュニティ活動が今後更に広がっていくことを期待しています。

まちの日記帳